



第566号

学校だより

4月号

横浜市立東本郷小学校

令和6年4月8日

ひとにやさしくありがとうの心で がんばるがんばる最後まで 本気で取り組むひがほんの子

きらきらの3月 まぶしい4月

学校長 堂腰 康博

121名の卒業生が東本郷小学校を巣立っていかうとするその直前、「6年生を送る式」の場で、当時5年生だった児童は、卒業生への感謝と祝福の気持ちを伝えるとともに、同じ学年の仲間に向かって、こんな力強いメッセージを届けてくれました。

「卒業式の予行練習には、バトンを受け継ぐために5年生が学校の代表として出席しました。卒業証書を受け取るときの「はい」という返事に気持ちを込めている姿を見て、あらためて憧れの感情を抱きました。また最後に歌っていた「旅立ちの日に」では、6年間のいろいろな思い出を振り返りながら歌っているのだろうな、というのが容易に想像できました。（中略）

5年生のみなさん、立派な姿を見せてくれた6年生のようにわたしたちも学校を引っ張っていきましょう。」

前走者だった6年生は、次走者である5年生の走りに信頼の気持ちをもって、最高学年というバトンを渡してくれました。一方、こうして卒業していく6年生に憧れ、一步でも近づこうと決意を示した5年生も、実に頼もしい姿でした。たくさんの人たちの「ありがとう」「おめでとう」の言葉に包まれたきらきらの3月がこうして過ぎていきました。



心地よい春の風とともに、いつもと変わらない子どもたちの元気な声が校庭に響きわたる中、令和6年度がスタートしました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本日、102名の新一年生を迎えて全校児童683名で令和6年度がスタートしました。

東本郷小学校の子どもたちは優しく、人とかかわることが大好きで、毎日の学習も学校行事でも自分のもっている力を出そうとする素晴らしい子どもたちです。ですから毎日のようにドラマや感動があり、「ありがとう」のタネも数多く転がっています。わたしは、それをキャッチして、この学校だよりを通して子どもたちの素敵な姿をお伝えしていきます。また、多くの「まち」の人たちと接する機会をつくり、「ひがほんのまちは素敵だな」と感じられ、「まち」をもっと好きになって、ひがほんの「まち」からも愛される、そんな子どもたちが育つ学校にしていきます。

今年度は、中期取組目標（3か年計画）で目指した経営方針のまとめの年になりますが、教職員のみだけではその目標の達成に向かうことはできません。学校・保護者・地域・諸関係機関が一体となって子どもたちを育てていけますよう、これまで同様に温かなご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。